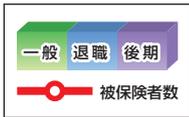
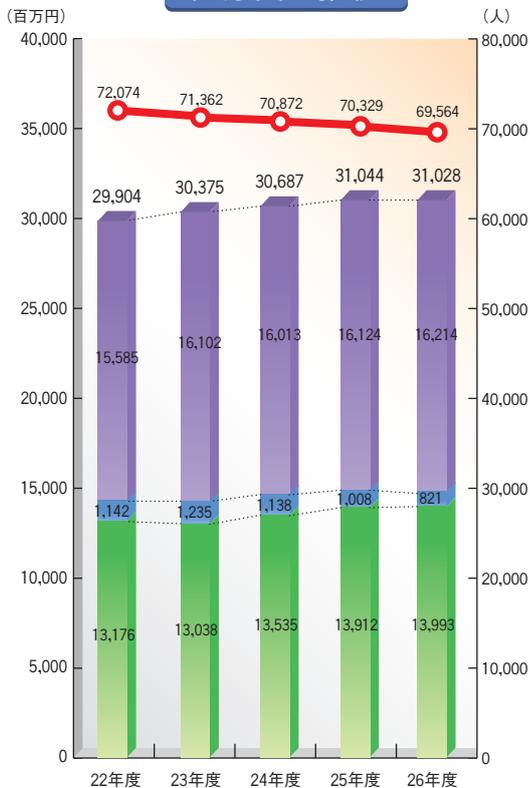


栃木市

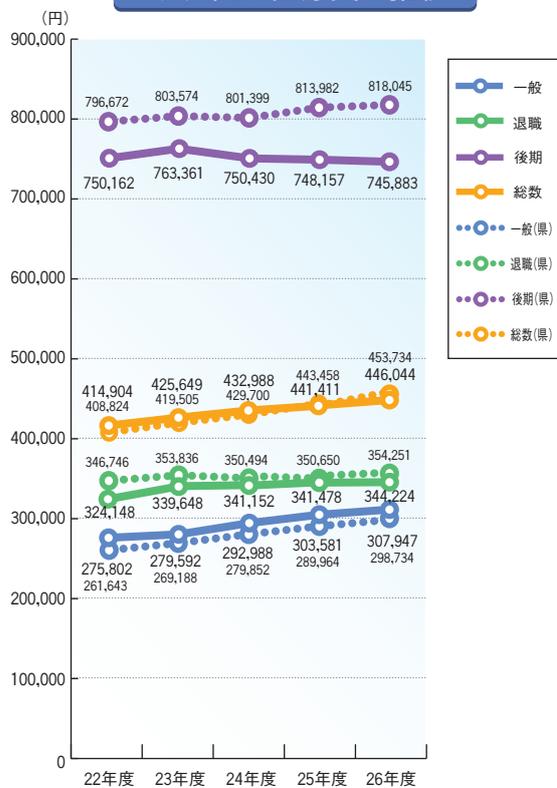
栃木市



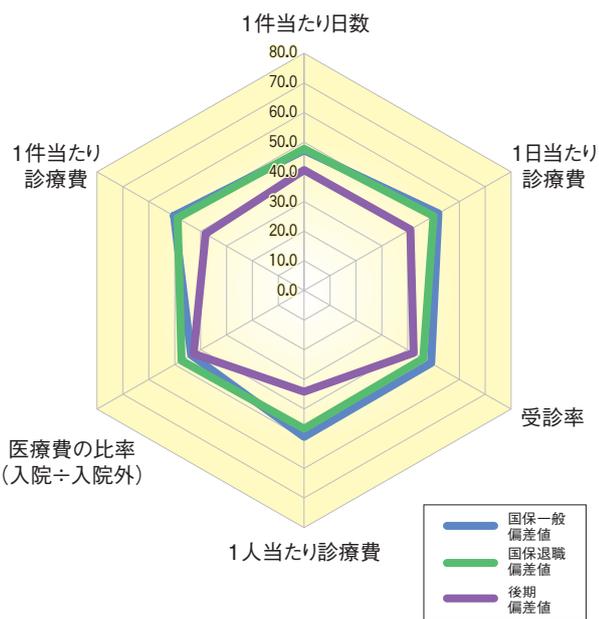
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

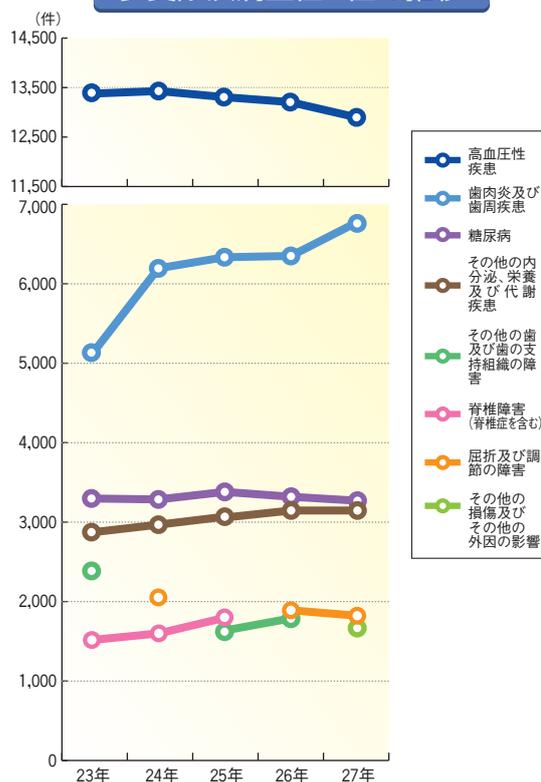


平成26年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)



レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

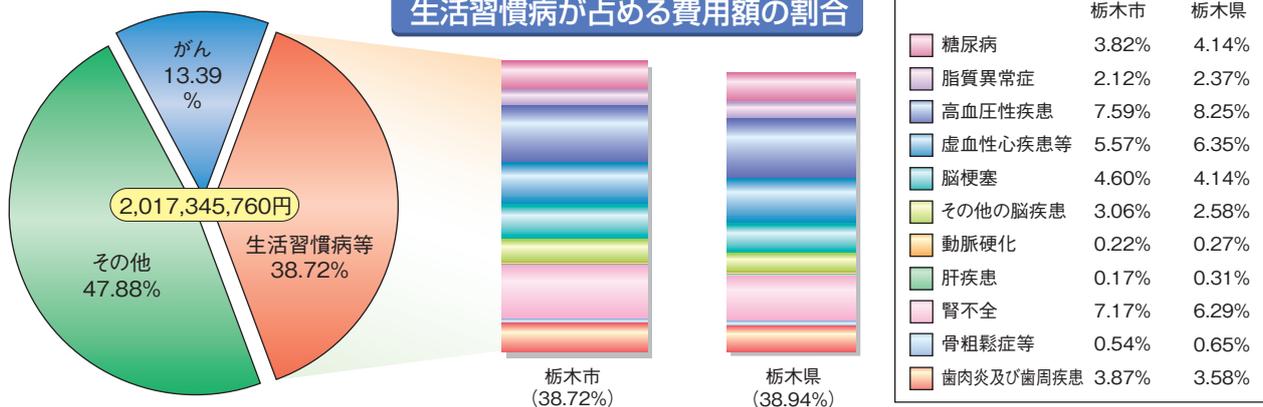
多受診疾病上位6位の推移



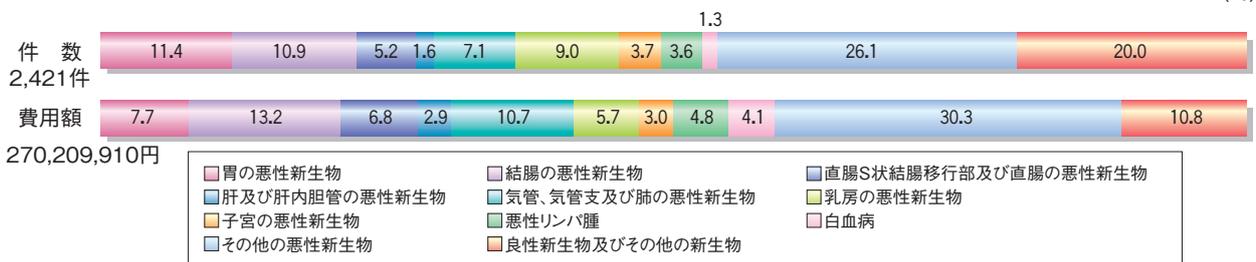
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



栃木市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般13,993,406千円(100.6%)、退職820,629千円(81.4%)、後期16,214,380千円(100.6%)で、全体では31,028,416千円(99.9%)と減少している。()は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は69,564人で、内訳は一般45,441人、退職2,384人、後期21,739人である。前年度比較すると全体で98.9%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は446,044円(4,633円増)、一般は307,947円(4,366円増)、退職は344,224円(2,746円増)、後期は745,883円(2,274円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、一般の1日当たりの診療費及び1件当たりの診療費以外は、いずれの項目も県の値を下回っている。

★疾病の状況

平成27年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位その他の損傷及びその他の外因の影響で、過去5年上位4疾病に変動はなく、件数及び費用額についても特に大きな変動はない。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脳卒中を除く4疾病の構成比は県全体と比べ高くなっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成27年5月診療分の総費用額が2,017,345,760円で、がんが13.39%、生活習慣病関連が38.72%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患7.59%、虚血性心疾患等5.57%腎不全7.17%となっている。

がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、結腸の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

1位 高血圧性疾患



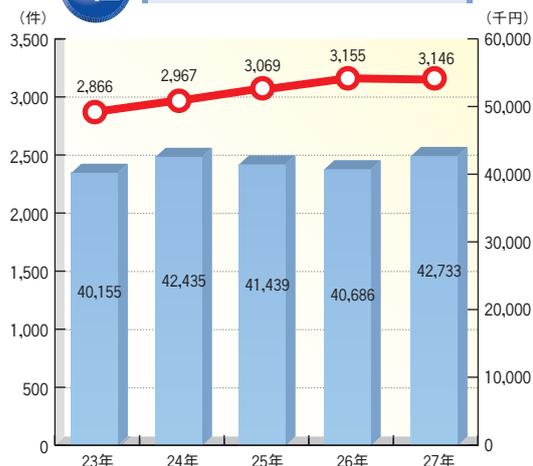
2位 歯肉炎及び歯周疾患



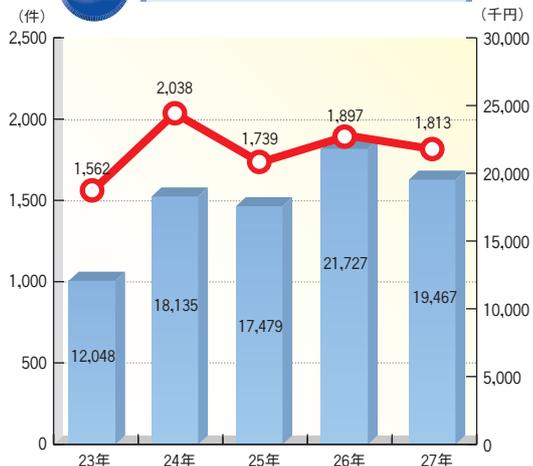
3位 糖尿病



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 屈折及び調節の障害



6位 その他の損傷及びその他の外因の影響

